



一学期も無事終了。明日から夏休みですね。親子で楽しい体験ができますように！！

第3回目は、各学部の自立活動の取り組みと7月4日に行われたST連携指導等についてお伝えします！



学部 学年 組	活動内容 / ストレッチ・体幹トレーニング・手指機能訓練
<p>小学部 たいよう1組</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、ふれあい遊びを2曲くらいして気持ちを高めています。(お気に入りには、「かみなりどんがやってきた」と「バスにのって」です。)</li> <li>腕や足の可動域の広がりにつながるようなストレッチをしたり、体幹や筋力アップを目的とした運動(ポーズ)をしたりしています。体勢をキープしたまま10秒をみんなでカウントすることで、10になるまでは姿勢を保とうとする様子が見られることがあります。その後は、個別で、型はめや2~3ピースのパズル、色分けなどの課題に取り組んでいます。著に興味が出てきた児童は、手の力をコントロールしやすくなるように洗濯ばさみやトングを使って物を挟んだり移動させたりする活動も加えました。毎日継続して取り組むことで、少しずつですが上達してきています。</li> </ul>
<p>中学部 太陽2組</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>手指活動に数学的要素を取り入れた活動をしています。前半は両手を意識して使うようにするために、ライオンの絵が描かれた厚紙を持ち、洗濯ばさみをたてがみに見立てて、決められ場所に付けていきます。両手を上手く活用しないと難しい内容ですが、右手を意識して活用する姿が見られるようになりました。洗濯ばさみを外すときも手指を意識することはもちろん、洗濯ばさみの数を数えながら外すことで、数も意識することができます。後半はもののかたちや空間認識力を養うためにパズル等に取り組んでいます。ピースが増えると難しくそうですが、楽しく取り組むことができます。</li> </ul>
<p>高等部 1-3</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、いろいろな姿勢変換に取り組んでいます。車椅子とベッド間の移乗もスムーズにできています。腕の太さが、中学部時代と比べても数段太くなっているようです。県の障害者スポーツ大会では、100メートルで金メダルを獲ることができたのも、腕力がついた証ではないでしょうか。移乗の際も、安心して見ているところです。</li> <li>姿勢変換以外に、足や手の運動も行っています。写真は、腕の可動域を教師と確認した後、自分でも動かせる位置まで確認しているところです。</li> </ul>

～毎時間、自分の目標に向かって自分のペースで取り組んでいます！！～

## 小学部の抽出指導の様子（一部抜粋）

本人の希望や得意なこと、興味・関心等を踏まえ、担任と連携を図りながら、それぞれの目標が達成できるよう、また、日常の学習がより効果的に進められるように個別に活動に取り組んでいます。

あいうえおマッチング	なぞり書き・名前の練習	お料理ごっこ（発語等）	全身運動・ストロー遊び
			
大好きなキャラクターたちの名前の頭文字と同じ文字をマッチング。なぞりも時間一杯、集中して取り組んでいます。	直線や曲線、名前のなぞりを自ら進んで取り組んでいます。色分けしたシートを使い、正しい書き順も覚えていきます。	食材や料理の手順等楽しく会話。発語を促し想像力・コミュニケーション面も伸びます。粘土の握り寿司も上手に作れました！	全身運動→顔のマッサージ→口腔体操→発音練習を頑張っています。毎回自分から発音を動画でチェックしています。
口・舌のトレーニング	温浴・リラクゼーション	ハサミの使い方（手指訓練）	貼り絵・自己選択
			
鏡で確認しながら口・舌のトレーニング。あいうべ体操もイラストカードを見ながら毎回熱心に取り組んでいます。	自分からバラの入浴剤を選び、教室中に素敵な香りが広がる中で温浴にトライ。笑顔や会話が増え、心も体もポカポカに。	友達へのプレゼント作りでキャラクターを上手にハサミでカット。手指の巧緻性、手や手首の調整力、集中力が伸びます。	貼り絵を通して集中力や目と手の協応・手指機能の向上を図っています。また次の活動を写真カードから選択できています。

## 自立活動室の様子

4月に比べると自立活動室でのマナーや時間のけじめ、物の管理、後始末、意思表示や友達との関わり方等、上手になっています！！これからも友達との真似をしながら、お互いに成長して行ってほしいです！！



タイヤを粘土で手作り。猫を貸してください！ 傘の畳み方を伝授中。傘の差し方やしまい方も練習したよ！

## セタフェア

～みんなのねがいがかないますように！！～



将来なりたい職業や今ほしいもの、できるようになりたいこと、世の中に望むこと等など夢や希望がいっぱい！！

## 給食の様子 姿勢に気を付けてお皿やスプーン、お箸を自分で持って食べていますよ！後片づけもバッチリ！！



## ST(言語聴覚士)連携指導がありました！！

- 1 日時 令和6年7月4日(木)
- 2 指導者 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 ST 松尾康弘先生
- 3 対象児童生徒 小学部 4人 中学部 1人 高等部 1人 計 5人  
(参加及び記録) 担任, 自立活動担当(中菌), 生活支援センターなんさつコーディネーター(折口さん)
- 4 主な指導内容とアドバイス

### ST(言語療法士)とは？

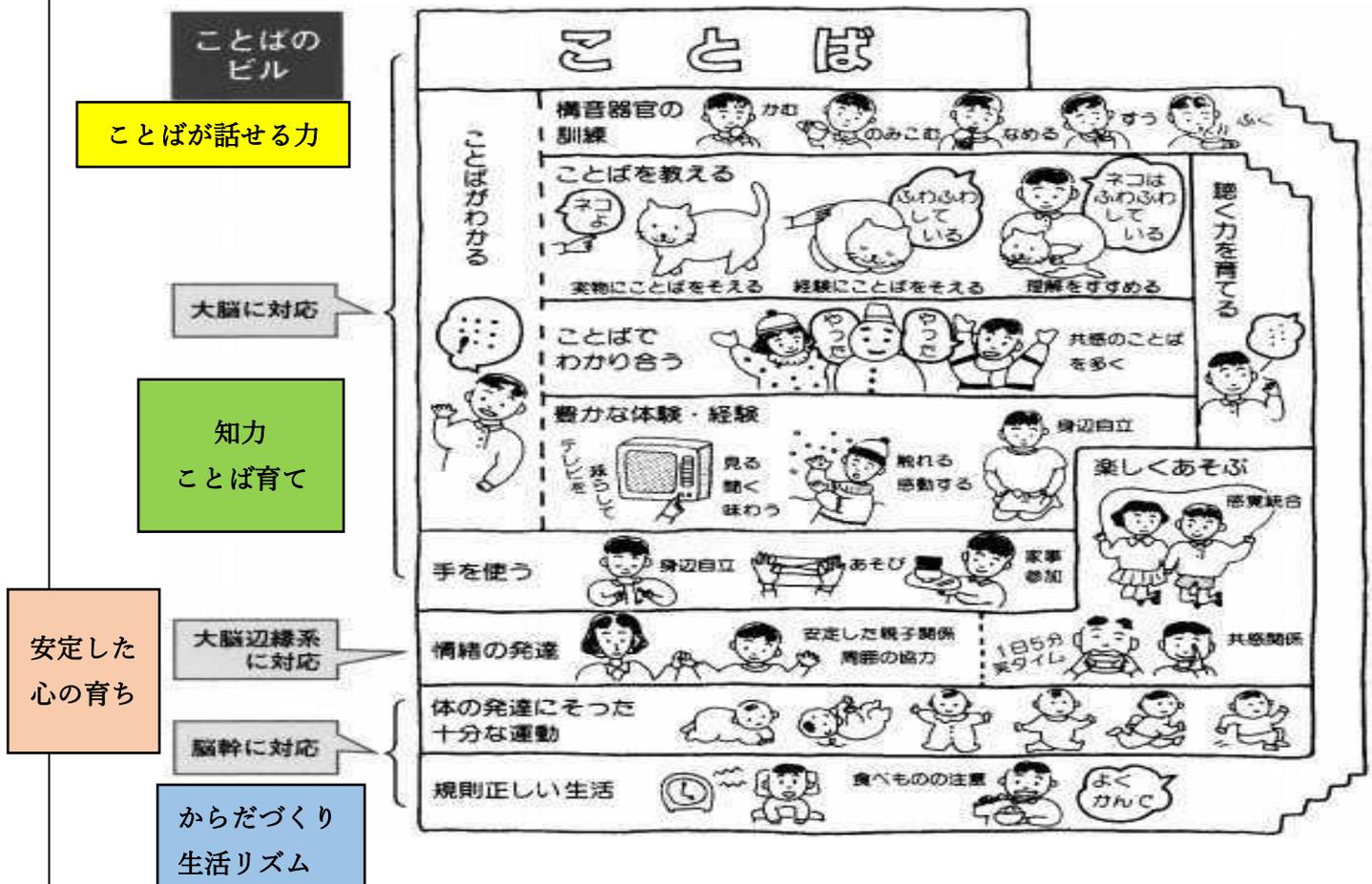
言語や聴覚, 音声, 呼吸, 認知, 発達, 摂食・嚥下にかかわる障害に対して, その原因を明らかにし, 検査と評価を行い, 指導・支援を行います。

	<p>Q 食べられるものを増やす手立て, サインの読み取り方</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな食材を, (手やスプーン) で掴む, すくうことができればOK→口まで持っていったらOK→唇に触ったらOK→口に入れたらOKというように段階を経る様にする。一連の行動の一つ一つを, 到達目標とするのが良いのでは。</li> <li>・りほさんの思いを言葉にする。ごはんだね→ごはん, おいしいね→おいしい</li> </ul>
	<p>Q 言葉が流ちょうでない。よだれが出る。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鼻呼吸になっていないことで, よだれが出やすい。</li> <li>・唇を使った活動をすることで, 発音の前段階の練習にもなる。</li> <li>・ひもをつけた大きめのボタンを口に挟んで, 教師が引っ張る活動をすることで, 唇の運動にもなる。</li> </ul>
	<p>Q 発音について改善策などあればご指導いただきたい。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の誤りは見られる。顎のつくりの影響はあるのでは。</li> <li>・声を意識すると, かえってできなくなるので, 正しく言い直す様にするとはNG。</li> <li>・「シャカナ」→「さかな」だねー(口の形をはっきり見せる)</li> <li>・言い間違いへの対応は, ゆっくり目に話すことを本人が自覚できると良い。リズムをとりながらゆっくり指折りして話す。</li> <li>・あいうべ体操は良い。</li> </ul>
	<p>Q よだれが溢れる。集中すると口元が緩む。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口呼吸になっている。言葉掛けは必要。</li> <li>・給食時の座面が高く感じる。足元の安定, 変えられれば背もたれも。</li> <li>・常に動いているので, 席も端の方が良い。</li> </ul>
	<p>Q 自分の気持ちを伝える方法を増やしたい。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二語文OK, 三語分はあやふや。(短い言葉は理解している。)</li> <li>・理解しているけれど, 表出が苦手。→言語(言葉)として言えないだけで, 違う記号として出ている。</li> <li>・音やジェスチャーで表出できている。このことがポイント。はさみを見て切るジェスチャーができた。(チョコチョコキ)→少しずつ「はさみ」に変換。</li> <li>・本人が, 誘導する際あえて大人が「こっちきて」と言うことで, 本児の言葉につながる。(大人が代弁)</li> </ul>

昨年度も紹介しましたが、中川信子さんの著書の中の「ことばのビル」をご紹介します。是非、参考にされてください！

◎実体験に即したことばを添える。そのためにお子様と経験とことばを共有する！！

◎分かることばが増え、話がしたくなるような環境を整える！！



脳の仕組みとことばの発達を、上のような「ビル」に例えて説明。「ことば」だけにとらわれるのは、いきなり一番上の階をつくらうとするようなもの。1・2階はビルの土台となる「生活リズム」や「からだづくり」など、基礎づくりに力を入れることが大切！！ 3階は「情緒の発達」で、楽しい食事や遊び、ワクワクするおもしろい体験、感動、自分の気持ちをわかってもらえる安心感、大好きな人がいる喜びなどがこころを育てていきます。

親子でたくさんの楽しい体験や会話を！！

### 松尾先生からのアドバイス

#### ○ 姿勢を確認しましょう。

正しい姿勢で食べると身体の軸がしっかりして、口の周りの様々な筋肉の力の調整ができ、結果として上手な咀嚼につながり、ことばの発達にもよい影響をもたらします。

- ・ 足裏が床にしっかり付いていますか？
- ・ 背中丸まって（または反って）いませんか？
- ・ おしりはしっかり座面にのっていますか？ もう一度チェックしてみましょう。

※ 正しい姿勢で取り組むことが発達の基本！！

#### ○ 話したくなる雰囲気作りに努め、楽しく発声の指導をしましょう。

「一番怖いのは、話したくなくなること」です。

大切なことは、「相手に伝えたい」「相手に分かってもらいたい」気持ちです。不明瞭さを正す（聞き返す）時間を決めたり、指導方法を工夫したりして楽しく取り組めるようにしていきましょう。

#### ○ 体をたくさん動かしましょう！！顔・口・舌のトレーニングも！！

全身がほぐれることで、より明瞭で正しい発音に繋がります。

#### ○ たくさんの体験がことばを育てます！！

実際に見たり、聞いたり、触れたり、味わったり。。。感動やわくわく体験で更なる好奇心とことばを引き出します！！また、わかる言葉が増えていきます。